

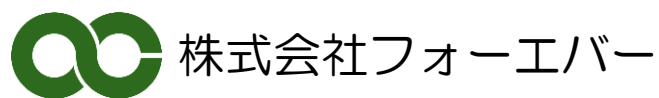
---

# forever 朝活

php 講座 復習の巻

---

---



## 【目次】

php の基本.....	2
php とは? .....	2
Web サーバーの代用品 xampp.....	2
htdocs がドキュメントルート .....	3
プログラムの基本.....	4
変数の復習 .....	4
フォームデータを php で受け取る.....	4
セッションでデータを渡す .....	8

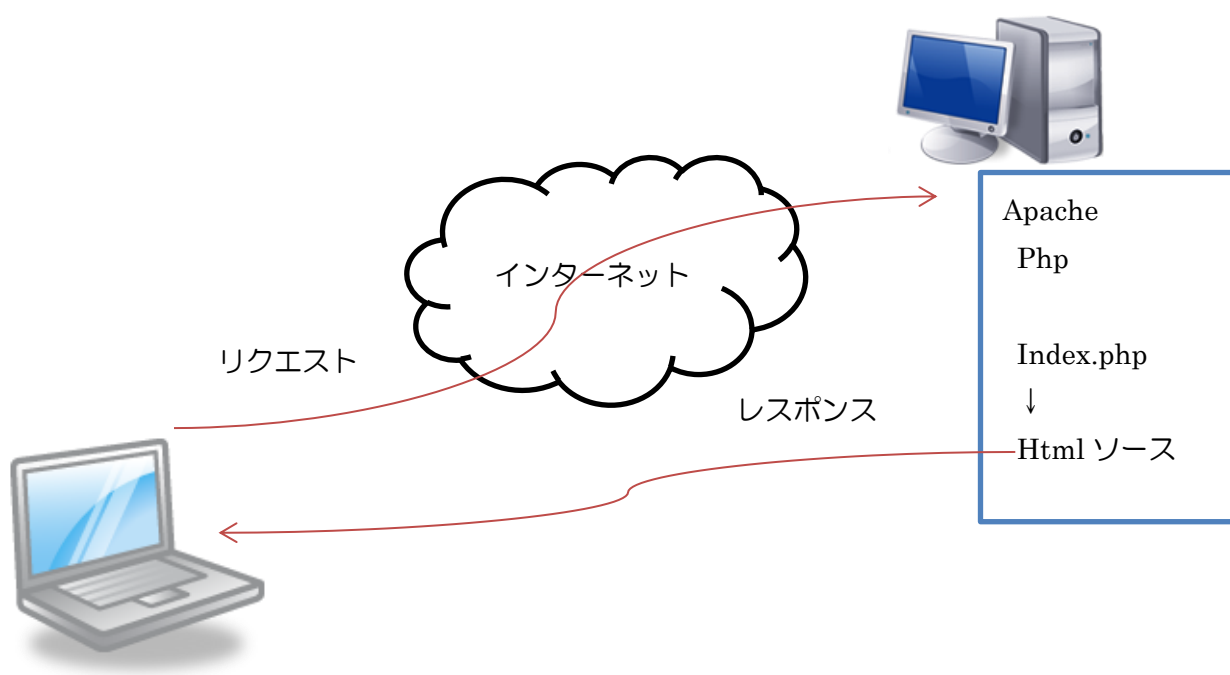
## php の基本

今日は php の復習をしてみましょう。まずは、リハビリから

### php とは？

php はハイパーテキスト プロセッサの略です。

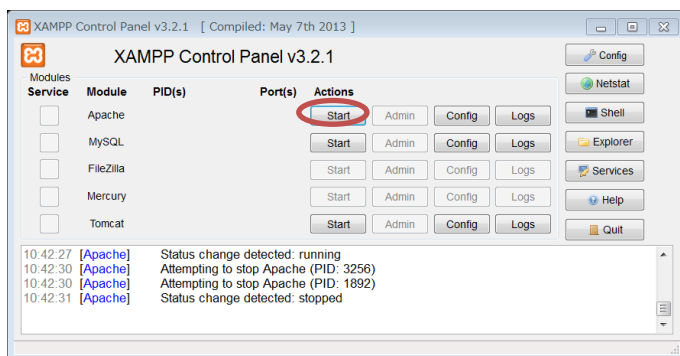
Web サーバーで php モジュールとして組み込まれ、サーバー側で実行され、その結果が HTML ソースとしてブラウザに帰ってくる仕組みです。



### Web サーバーの代用品 xampp

インターネット上の Web サーバーに公開する前の状態でテストするために、代用品として xampp ツールがあります。

みなさんのパソコンには xampp がインストールされていますので、xampp の apache を start しましょう。



Xampp の apache は最初から php モジュールが組み込まれています。  
Freeweb や chobi.net も php モジュールが組み込まれているので、php を実行することができます。

### htdocs がドキュメントルート

xampp に php ソースを置く場合は、c:\xampp フォルダの直下の htdocs がドキュメントルートになりますので、そのフォルダ以下にソースを置きます。

C:\xampp\htdocs\birthdaystar\index.php

を置いた場合、ブラウザから

<http://localhost/birthdaystar/index.php>

でアクセスすることができます。

これが、chobi.net 等レンタルサーバーの場合には、public\_html フォルダがドキュメントルートになりますので、

/public\_html/birthdaystar/index.php

に置いた場合は、ブラウザから

<http://ドメインアドレス/birthdaystar/index.php>

でアクセスできます。

htdocs や public\_html はブラウザでは記述しません。注意してください。

## プログラムの基本

では、今度は少しプログラムを作成してみましょう。

php のプログラムは html のソース中に `<?php` と `?>` でサンドイッチして宣言します。

### 変数の復習

英数字の頭に \$ をつけると変数として使えます。変数にはいろいろなデータを保存できます。

- 課題 1 : htdocs の配下に asakatu フォルダを作り、その中に sample1 フォルダを作ります。その中で変数 \$name に自分の名前を設定し、画面に表示する index.php を作成しましょう

なるべく、答えを見ないでやりましょう。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja">
<head>
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
    <title></title>
</head>
<body>
<h1>
<?php
$name = '(私の名前)';

print($name);
?>
</h1>
</body>
</html>
```

### フォームデータを php で受け取る

HTML では以下のような form を作ると、サーバーにデータを送ることができます。

```
<form action="index.php" method="get">
<input type="text" name="abc" id="abc"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

この場合、GET 方式でデータがサーバーに送られます。GET 方式は URL に付加して送る方法です。

渡されるのは、カレントフォルダーの index.php です。  
index.php では \$\_GET で変数を受けます。

```
$abc = htmlspecialchars($_GET['abc'], ENT_QUOTES);
```

- 課題 2 : sample2 フォルダーを作成、index.html から sample2.php へ名前を GET で渡すプログラムを作りましょう

index.html

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="sample2.php" method="get">
<input type="text" name="myname" id="myname"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

Sample2.php

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<?php
$name = htmlspecialchars($_GET['myname'], ENT_QUOTES);
print($name);
?>
```

今回は GET 方式でデータを送りました。ですから、実行した時、URL が次のようになります。

```
http://localhost/asakatu/sample2/sample2.php?myname=hisanaga
```

この GET 方式では、渡すことができるデータ量に制限があります。そこで POST 方式を使ってみましょう。Method="POST"とするだけで、POST 方式に変わります。

- 課題 3 : sample3 フォルダを作成、index.html から sample3.php へ名前を POST で渡すプログラムを作りましょう

index.html

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="sample3.php" method="post">
<input type="text" name="myname" id="myname"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

sample3.php

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<?php
$name = htmlspecialchars($_POST['myname'], ENT_QUOTES);
print($name);
?>
```

action で他のソースを指定すれば、次にデータを渡すだけですが、action を省略すると、自分自身に渡すことができます。

- 課題 4 : sample4 フォルダを作成、index.php から自分へ名前を POST で渡すプログラムを作りましょう。1 回目は空白、2 回目以降は入力された名前が表示されます。

```

<?php
error_reporting(E_ALL ^ ~E_NOTICE ^ ~E_DEPRECATED);
?>
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="" method="post">
<input type="text" name="myname" id="myname" value="<?php print
htmlspecialchars($_POST['myname'],ENT_QUOTES); ?>"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>

```

1 回目の起動と 2 回以降の起動を区別する必要がでてくる場合があります。

1 回目とは、そのフォームが初めて起動された時で、初期化等をする場合があります。2 回目以降は自分から自分へフォームデータを渡しているのので、そのデータの処理が必要になります。

ちなみにソースの先頭の `error_reporting` は、エラー出力の制御です。

```

If (empty($_POST) {
    1 回目
} else {
    2 回目以降
}
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="sample3.php" method="post">
<input type="text" name="myname" id="myname"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>

```

フォームに入力された値をチェックする場合は 2 回目以降でチェックする必要があります。1 回目はデータがないのでチェックしようがありません。

- 課題 5 : `sample5` フォルダを作成、`index.php` から自分へ名前を POST で渡すプログラムを作りましょう。名前が入力されたら `sample5.html` に移動します。



index.php

```
if(!empty($_POST)) {
    if($_POST['myname']!="") {
        header('Location: sample5.html');
        exit();
    }
}
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="sample3.php" method="post">
<input type="text" name="myname" id="myname"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

sample5.html

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
名前が入力されました
```

### セッションでデータを渡す

ここまでで、GET と POST を勉強しました。

GET や POST は、1 回受け取ってしまえば、それでおしまいです。次に同じものを渡したいのであれば、そのたびに form を作って、INPUT 領域を作って渡していかなければなりません。それだと、複数の場面で共通で使用するログイン ID などのような変数を渡していくのは面倒です。

そのようなときにはセッション変数に保存すると、接続したブラウザを閉じるまでは、変数を保持することができます。

セッション変数を使用するときは、`session_start()`関数を使って、セッションの使用を宣言する必要があります。

- 課題6：sample6フォルダーを作成、課題5を改造して、名前をsample6.phpに渡すように変更しましょう。

index.php

```
session_start();
error_reporting(E_ALL ^ ~E_NOTICE ^ ~E_DEPRECATED);

if(!empty($_POST)) {
    if($_POST['myname']!="") {
        $_SESSION['myname']=$_POST['myname'];
        header('Location: sample5.html');
        exit();
    }
}
<!DOCTYPE html>
. . . . .
<form action="sample3.php" method="post">
<input type="text" name="myname" id="myname"/>
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

sample6.php

```
<!DOCTYPE html>
. . . . .
session_start();
print(htmlspecialchars($_SESSION['myname'],ENT_QUOTES));
```

さて、セッション渡しはうまくできましたか？

では、次回からは、授業でやらなかった部分などをやっていっていきましょう。

## forever 朝活 php 講座

2014 年 1 月 20 日 初版発行

著作/制作：株式会社フォーエバー

〒890-0053 鹿児島市中央町 22-16 アエールプラザ 4F

TEL:099-296-9118 FAX : 099-250-2333 <http://www.forever.co.jp>

●本書は、構成・文書・プログラム・画像・データなどのすべてにおいて、著作権上の保護を受けています。

本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。